学校番号	319

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　新地理Ａ」（帝国書院） 「新コンパクト地図帳　改訂版」（二宮書店）						
副教材等	「フォトグラフィア地理図説」（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・写真・地図・グラフなど多くの資料を的確に読み取り、考察する。
・テーマに沿った資料には何が必要か考え、グラフや作図をする。

２　学習の到達目標

世界の諸課題を地理的な観点から考察させることにより，現代世界の地理的認識を深め，日本の国際的立場や役割を広い視野からとらえる能力や態度を育成する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め，それを意識的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	地図や統計，画像など地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けるとともに，追究した過程や結果を適切に表現する。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている
評価方法	・提出物（作業プリントやノート） ・発問評価 ・授業参加度	・定期考査（記述） ・作業プリント ・発問評価	・定期考査（資料） ・地図や資料の読み取り	・定期考査 ・発問評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	地球儀や地図からとらえる現代社会	・地球上の位置と国家	○	○	○	○	a: 地上の現象と地球上の位置についての関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b: 時差のしくみや時差と日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 時差に関する地図や諸資料を収集し，有用な情報を選択して読み取ったり，計算により時差を求めたり，図表などにまとめたりしている。 d: 地球儀と地図との違いや，図法によって距離・方位・面積などの表現が異なることを理解し，それらに関する知識や活用方法を身につけている。	・授業参加度 ・質疑応答の的確さ ・提出物（作業プリントやノート） ・定期テスト
	人間生活を取り巻く環境	・生活に影響を与える環境条件 ・人々の生活と地形	○	○	○	○	a: 世界の大地形に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b: 世界の大地形の成り立ちについて，地域性や歴史的背景，日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 河川がつくる山地・平野の地形に関する地図や画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 内的営力と外的営力および大地形に関する基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。	・授業参加度 ・質疑応答の的確さ ・提出物（作業プリントやノート） ・定期テスト

2	人間生活を取り巻く環境	・人々の生活と気候 ・人々の生活と産業 ・人々の生活と文化	○	○	○ ○	○ ○	a: 生活と気候とのかかわりに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b: 気候の成り立ちと気候区分について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 生活の変化や経済格差に関する地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 多様な文化についての基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。	・授業参加度 ・質疑応答の的確さ ・提出物（作業プリントやノート） ・定期テスト
	世界の諸地域の生活・文化	・世界の諸地域 中国、韓国、東南アジア、インド、中央アジア、西アジ　ア、北アフリカ、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アメリ　カ、ラテンアメリカ、オース　トラリア	○	○	○	○	a: 世界の諸地域の自然環境と生活・文化に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:世界の諸地域の歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 C世界の諸地域の自然環境を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:世界の諸地域の生活と文化について，自然環境や地域性と関連させながら，追究の方法を理解し，その知識を身につけている。	・授業参加度 ・質疑応答の的確さ ・提出物（作業プリントやノート） ・定期テスト

3	地球的課題と私たち	・世界の環境問題 ・世界の資源、エネルギー問題 ・世界の人口問題 ・世界の食料問題 ・世界の食糧問題 ・世界の都市・居住問題	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: 世界の環境問題や資源エネルギー問題、その他の世界規模の課題に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b: 世界で起こるさまざまな問題の課題を見出し，それを地域性や歴史的背景，日常生活との関連をふまえて考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界で起こる様々な問題を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 世界で起こるさまざまな問題とその解決に向けた取り組みについての基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。	・授業参加度 ・質疑応答の的確さ ・提出物（作業プリントやノート） ・定期テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。